

# 令和元年度調査研究概要 「市町村職員の自殺対策に関する認識と相談支援に関する調査」～自殺対策の人材育成のあり方についての考察～

- 背景**
- 自殺は複数の要因（健康問題、経済問題、家庭問題等）が連鎖して起こるため、関係部署が連携した支援を行うことが重要である。
  - 平成28年の自殺対策基本法の改正では、自殺対策は「生きることの包括的な支援」を基本理念とし、都道府県だけでなく市町村にも「自殺対策計画」の策定が義務づけられている。
  - 住民に身近な立場で、相談窓口を設置している「市町村」の職員が、ゲートキーパーとして機能することは、「生きることの包括的支援」につながる。

## 研究目的 具体的な自殺対策を検討する基礎資料として、市町村職員の自殺に対する認識と相談支援の現状を明らかにする。

<p><b>方法</b></p>	<p>1 研究デザイン：横断研究（実態調査）                  2 対象：平成30年度ゲートキーパー研修を実施した県内8市町村の職員1,074人                  3 調査方法：無記名自記式質問紙                  4 期間：令和元年10月～11月</p>	<p>5 項目：部署、就業年数、職種、ゲートキーパー研修受講経験、自殺関連相談の対応、自殺対策に関する考え方、現状の自殺対策の認知度等                  6 倫理的配慮：精神保健福祉センター倫理審査委員会にて承認</p>																						
<p><b>結果概要</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ゲートキーパーの認知度は65.4%</li> <li>●相談経験者19.1%、うち相談に対応した85.7%、相談に対応しなかった12.9% 理由 既に病院に受診している。直接の担当ではなかった対応によって、自殺を誘発するのではと心配</li> <li>●相談対応した内容                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・判断や批判をしないで傾聴した 79.4%</li> <li>・適切な相談場所や専門機関につないだ 51.6%</li> <li>・必要な情報提供した 40.5%</li> <li>・相談者に自殺の意思を聞いた 25.4%</li> <li>・相談者自身ができる対処法を伝えた 24.6%</li> </ul> </li> <li>●対応上の困難                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・対処方法が分からなかった 34.1%</li> <li>・つなぎ先が分からなかった 19.0%</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談のための必要な情報を知らなかった 17.5%</li> <li>・傾聴方法が分からなかった 13.5%</li> <li>●ゲートキーパー研修受講の有無による、相談支援の関連                         <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="border: none;"> <table border="0"> <tr> <td style="border: none;"><u>研修受講歴あり</u></td> <td style="border: none;">&gt;</td> <td style="border: none;"><u>研修受講なし</u></td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;">相談経験がある者</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">相談経験がある者</td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;">26.0%</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">14.5%</td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;">相談に対応した者</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">相談に対応した者</td> <td style="border: none;">p値 0.003</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">93.4%</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">76.5%</td> <td style="border: none;">有意差あり</td> </tr> </table> </td> <td style="border: none;"></td> </tr> </table> </li> <li>●ゲートキーパー研修受講歴と自殺対策の認識の関連 大きな差異は見られないが、自殺に対する考え、自殺対策推進に対する考え、現状の自殺対策の認知度すべてにおいて受講経験がある者が高かった。特に自殺対策計画、自殺防止センター、SOSサインリーフレットの認知度は19.6～28.6ポイントの差が見られた。</li> </ul>	<table border="0"> <tr> <td style="border: none;"><u>研修受講歴あり</u></td> <td style="border: none;">&gt;</td> <td style="border: none;"><u>研修受講なし</u></td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;">相談経験がある者</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">相談経験がある者</td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;">26.0%</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">14.5%</td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;">相談に対応した者</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">相談に対応した者</td> <td style="border: none;">p値 0.003</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">93.4%</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">76.5%</td> <td style="border: none;">有意差あり</td> </tr> </table>	<u>研修受講歴あり</u>	>	<u>研修受講なし</u>		相談経験がある者		相談経験がある者		26.0%		14.5%		相談に対応した者		相談に対応した者	p値 0.003	93.4%		76.5%	有意差あり	
<table border="0"> <tr> <td style="border: none;"><u>研修受講歴あり</u></td> <td style="border: none;">&gt;</td> <td style="border: none;"><u>研修受講なし</u></td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;">相談経験がある者</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">相談経験がある者</td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;">26.0%</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">14.5%</td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;">相談に対応した者</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">相談に対応した者</td> <td style="border: none;">p値 0.003</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">93.4%</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">76.5%</td> <td style="border: none;">有意差あり</td> </tr> </table>	<u>研修受講歴あり</u>	>	<u>研修受講なし</u>		相談経験がある者		相談経験がある者		26.0%		14.5%		相談に対応した者		相談に対応した者	p値 0.003	93.4%		76.5%	有意差あり				
<u>研修受講歴あり</u>	>	<u>研修受講なし</u>																						
相談経験がある者		相談経験がある者																						
26.0%		14.5%																						
相談に対応した者		相談に対応した者	p値 0.003																					
93.4%		76.5%	有意差あり																					
<p><b>考察・課題</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ゲートキーパー研修の効果：自殺に関する知識、理解の向上、自殺予防の相談対応につながる、庁内職員の自殺対策の機運の醸成</li> <li>●ゲートキーパー研修の課題：リスクアセスメント(自殺の意思確認等)や専門機関へのつなぎ方等具体的な対処方法に困難さを感じている。→研修内容の検討・充実を図る</li> <li>●今後の人材育成のあり方：事例を用いた対応方法の共有、個別性に応じた他部署、関係機関との連携方法の検討など支援者支援の視点が必要である。</li> </ul>																							
<p><b>今後の取組</b></p>	<p>自殺対策におけるゲートキーパー研修の重要性が明らかになった。今後は、研修内容の充実を図り、部署の横断的な課題解決のための方法の検討や専門機関等との連携の仕組みづくりが必要である。結果を各市町村に還元し、各地域の特性に応じた対策を共に検討していく。</p>																							